

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取り扱いについて

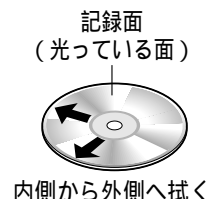
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭きます。



取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- ディスクが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- ディスクを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- 紙やシールを貼らない
- 本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布（付属のクリーニングクロスなど）で、から拭きしてください。

画面をツメや固いもので引っかかないでください。キズが付くと映像が見づらくなります。

⚠ 注意

特殊形状のディスクや CD/DVD アクセサリーは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルムやスタビライザーなどの CD/DVD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

故障かな!?

症状	チェック項目・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	14 58 ~ 62 55
音声のみで、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキコードの接続をお確かめください。 サイドブレーキを引いて、ご使用ください。	7
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。	14 14 -
雑音が出る 映像の映りが悪くなる	アンテナが十分に伸びているか、お確かめください。 携帯電話などを本機から離してください。	- -
モニター		
モニターの上下の角度や前後の位置が調整できない	障害物にあたらぬ位置でご使用ください。	15,
モニターが収納できない	モニターの左右の角度を中央に戻してください。 モニターが水平にならずに、途中で止まった場合は モニターを軽く上に持ち上げてから、  (OPEN/CLOSE) を押してください。	14, 15
テレビ		
雑音のみで映像が不鮮明	放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。 テレビアンテナの接続や取り付けをご確認ください。	16 , 61
DVD ビデオ, ビデオ CD, 音楽 CD		
ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される	ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機で再生可能なディスクか、お確かめください。 別売の光ファイバケーブルを接続してください。	18 51 13 60 ~ 61
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ 角度を 30°以内に調整し、しっかり取り付けてください。	51
ボタンを押しても操作できない	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 詳しくはディスク側の説明をご覧ください。	18

ページ数に 印のある項目は、CY-TVD9000D の取扱説明書をご覧ください。

症状	原因と処置	ページ
DVD ビデオ, ビデオ CD, 音楽 CD (つづき)		
音声言語/字幕言語/アングルが切り替えられない	ディスクに複数の音声言語/字幕言語/アングルが記録されていない。 詳しくはディスク側の説明をご覧ください。	20
初期設定で選んだ音声/字幕言語にならない	ディスクにその言語が記録されていない。 詳しくはディスク側の説明をご覧ください。	42
ラジオ		
FM ステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか、お確かめください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 26
プリセットしたはずの放送局が解除されている	バッテリーコードを、常時通電している端子に接続してください。	58
ナビゲーション・車載用ビデオ・ビデオカメラ・車載用カメラ・リアモニター		
ナビゲーションの映像が出ない	ナビゲーションの接続をお確かめください。 ナビゲーション入力の設定をお確かめください。	60 ~ 61 36
車載用ビデオやビデオカメラの映像や音が出ない	車載用ビデオやビデオカメラの接続をお確かめください。 VTR1/VTR2 の入力レベルが、過大になっている。 (「OVER」が表示されている) VTR 音声入力レベルを調整してください。	46
車載用カメラの映像が出ない	車載用カメラの接続をお確かめください。 カメラ入力の設定をお確かめください。	36
2 台目のモニターの映像が切り替わらない	リアモニター設定が「自動」以外になっていないか、お確かめください。	32
画面・音質調整		
画面の明るさが一定でない	ディマーの設定が「自動」になっている。 故障ではありません。設定を「1 ~ 4」にすると、 周囲の明るさに影響されなくなります。	40
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	画面調整の各項目を調整してください。	40
前後左右の何れかの音が出ない	各コードの接続をお確かめください。	58 ~ 62,
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続をお確かめください。	58 ~ 59
スピーカーから音が出ない	スピーカー設定が「NO」や「NONE」になっている 設定をお確かめください。	46

故障かな!?

リモコン

ボタンを押しても動作しない	電池の極性(+)(-)をお確かめください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	10
ナビゲーション付属リモコンでテレビを操作できない	NAV..TV スwitchの位置を「TV」側にしてください。	12

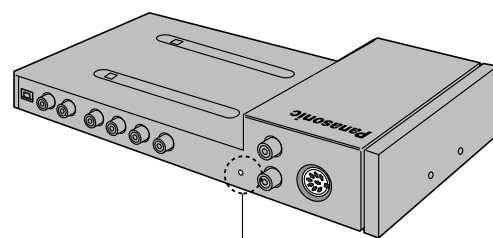
こんなときは、故障ではありません。

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる (雑音が出る)	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする (雑音が出る)	山や木立のかげになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る、色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。
赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチを押してください。
ヘッドユニット(ディスプレイユニット前面部)のリセットスイッチも押してください。
回復後、電源が切れます。
記憶した内容や設定は解除されますので、もう一度、設定・調整し直してください。

リセットしても正常に戻らない場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。



リセットスイッチ

こんな表示が出たときは

表示例	原因	確認・処置
E 1	ディスクが汚れている、裏返しになっている。 挿入したディスクがデータ用、または録音されていない。 ディスクが正常にイジェクトできない。	イジェクトしてください。 (表示されずに、ディスクが自動的に排出される場合もあります。) E1、E2 エラーのときはディスクをお確かめください。 正常に戻らない(イジェクトできない)場合はリセットスイッチを押してください。 (チェンジャーの場合は、チェンジャーのリセットスイッチ) お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
E 2	ディスクにキズがついている。 ディスクが裏返しになっている。	
E 3	何らかの原因で動作しない。	
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
NO MAGAZIN	チェンジャー(マガジン)に、ディスクが1枚も入っていない。	チェンジャー(マガジン)に、ディスクを入れてください。
PAL/NTSC ERR	映像方式が「PAL」のディスクを再生した。	イジェクトしてください。 本機では、再生できません。
REGION ERR	リージョン番号が「2」または「ALL」以外のディスクを再生した。	イジェクトしてください。 本機では、再生できません。

お知らせ

E1、E2の前に、エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。
チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳細は、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

取り付け・配線の前に

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火・感電・故障の原因になります。

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け・配線の前に、部品を確認してください。

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

アンプボックス取り付け関係

品名	個数
タップタイトねじ (M 3 × 6 mm)	2
バインドねじ (M 5 × 8 mm)	4
座付きタッピンねじ (6 × 20 mm)	4
座付き六角ナット (M 5)	4
L型金具	2
ベース金具	2
粘着テープ (35 mm × 80 mm)	2
マジックテープ (16 mm × 97 mm)	2

配線関係

品名	個数
電源コード	1
センタースピーカーコード	1
センタースピーカー延長コード (3 m)	1
アースコード (0.6 m)	1
ラジオアンテナ延長コード (3 m)	1

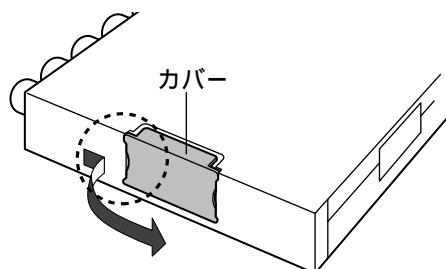
取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

お願い 必ず付属ねじをご使用ください。

接続部のカバーをはずす

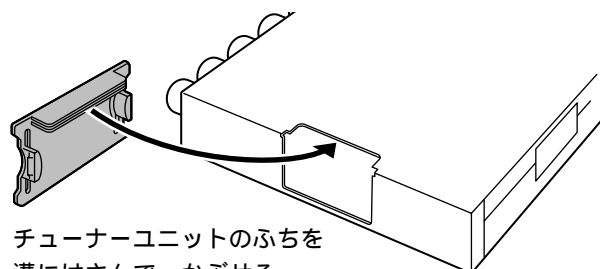
ヘッドユニット (CY-TVD9000D) のチューナーユニットから、カバーをはずす。

底面にマジックテープが貼ってある場合は、取り除く。



カバーの端に指(爪)を引っかける
カバーを横にずらして、取りはずす

カバーをはめる場合は

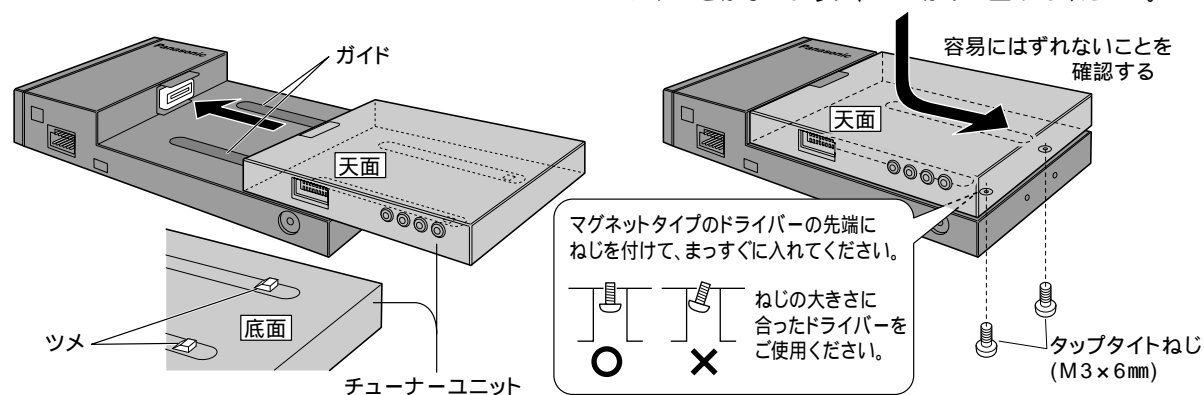


チューナーユニットのふちを
溝にはさんで、かぶせる

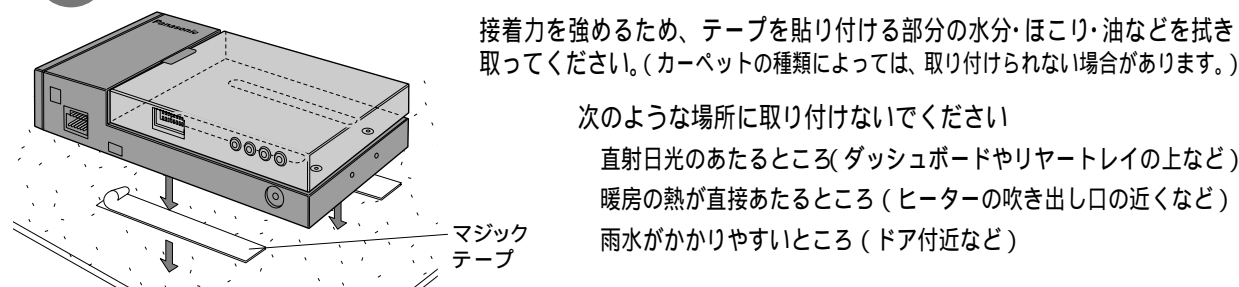
取り付けかた

1 ヘッドユニット (CY-TVD9000D) のチューナーユニットを本機 (TU9000) と接続させる。

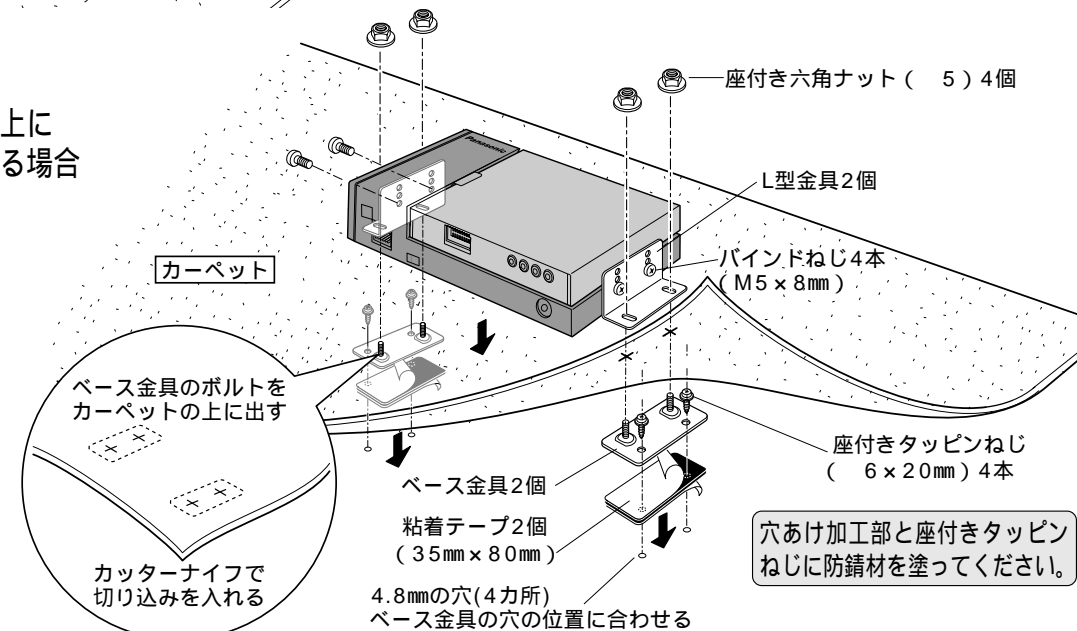
- ① ガイドに沿ってスライドさせる
接続部のコネクタを、根元まで確実に挿し込んでください。
- ② チューナーユニット底面のツメが入ったかを確認する
天面を抑えながら、矢印方向にスライドしてみてください。
- ③ 底面からねじで止める (2カ所)
ガタつきがないように、しっかりと止めてください。



2 車両のカーペット (助手席の下など) に取り付ける



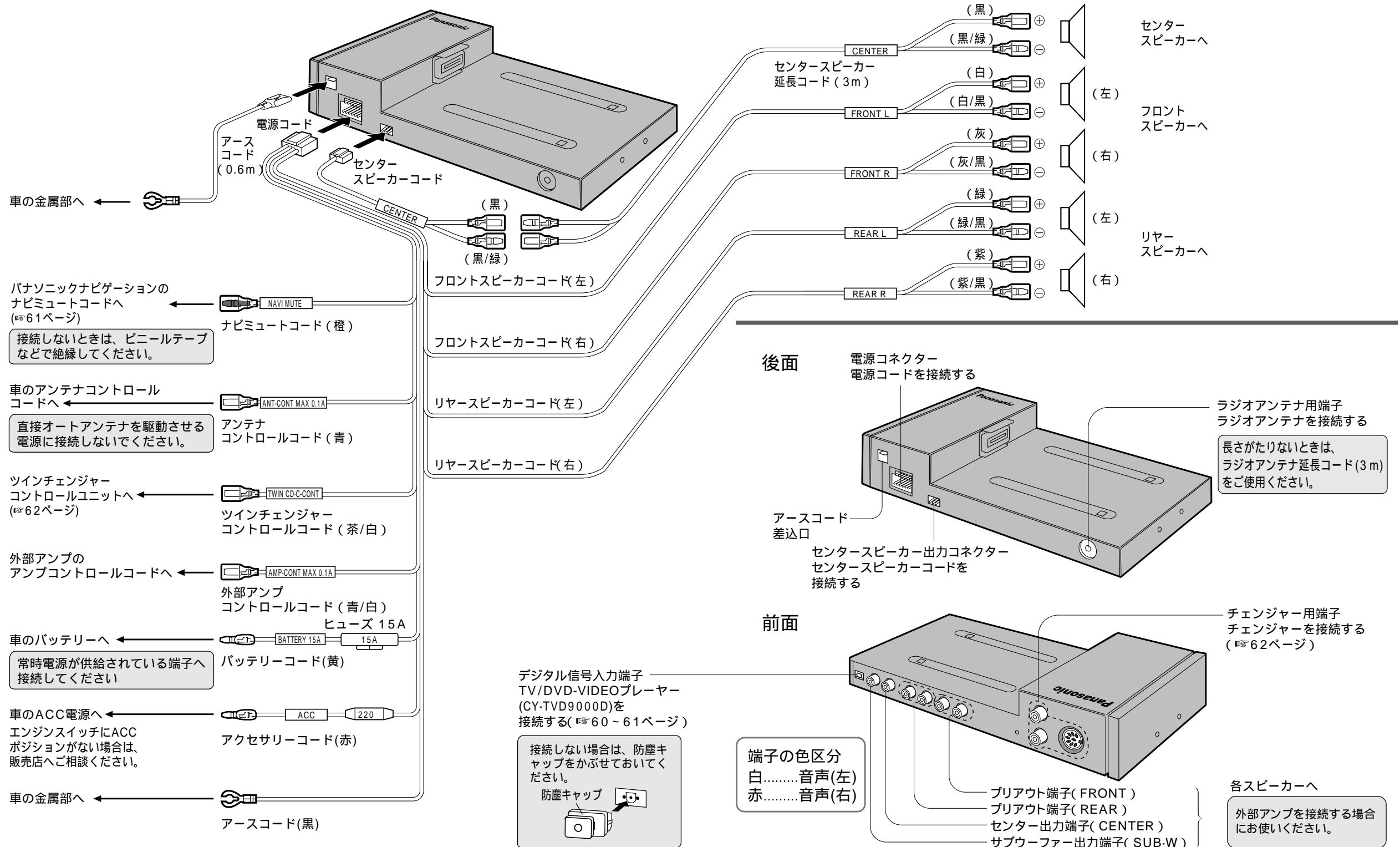
車両の床に取り付ける場合



穴あけ加工部と座付きタッピンねじに防錆材を塗ってください。

配線のしかた

基本配線 (付属コードを接続する)



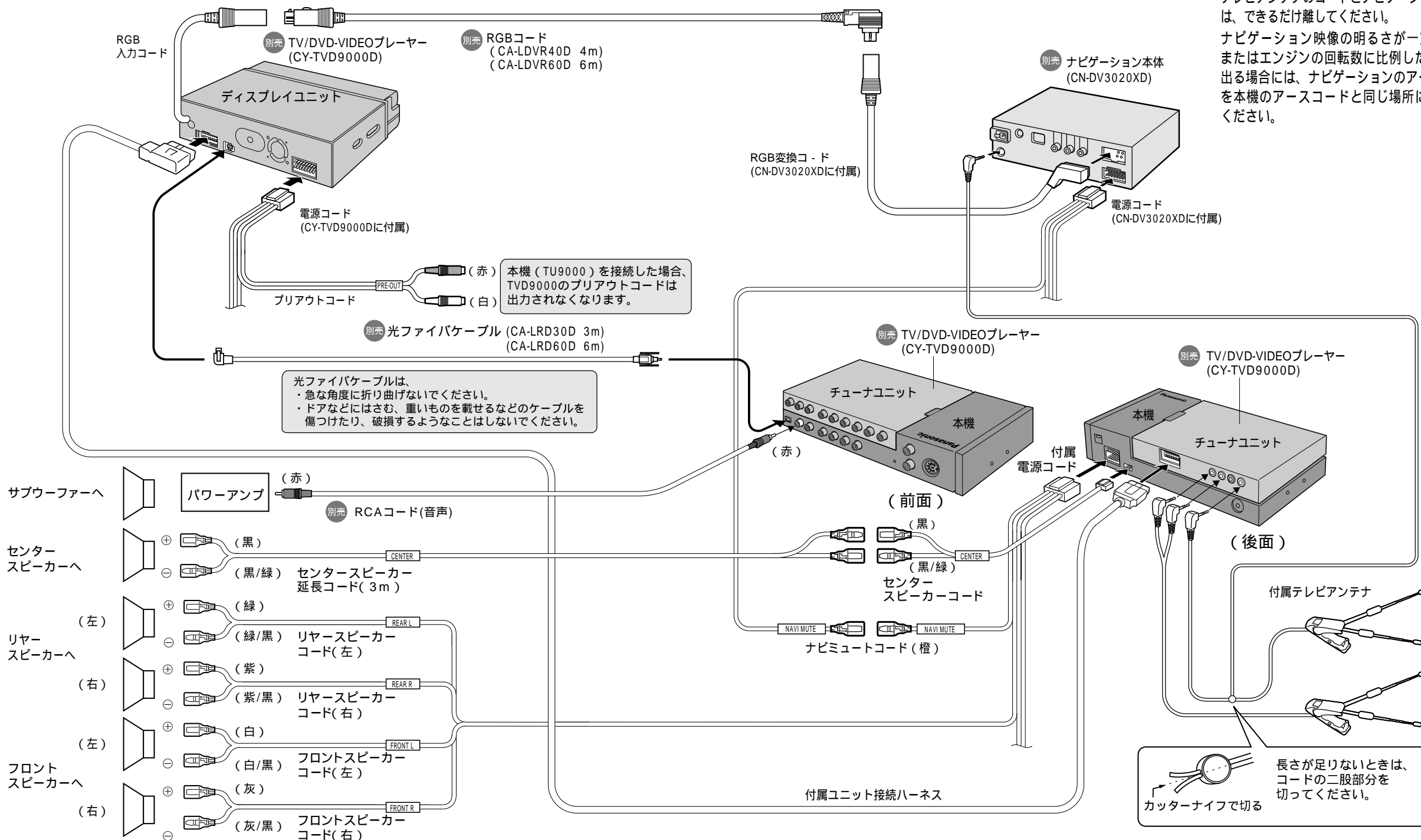
配線のしかた

ナビゲーションなどを接続する (5.1ch サラウンドシステム)

接続した機器の取付説明書も、併せてご覧ください。
必ず別売の光ファイバケーブルを接続して、ご使用ください。
カーナビゲーションシステムを接続した場合には ナビゲーション入力の設定 (※36 ページ) を合わせてください。

お願い

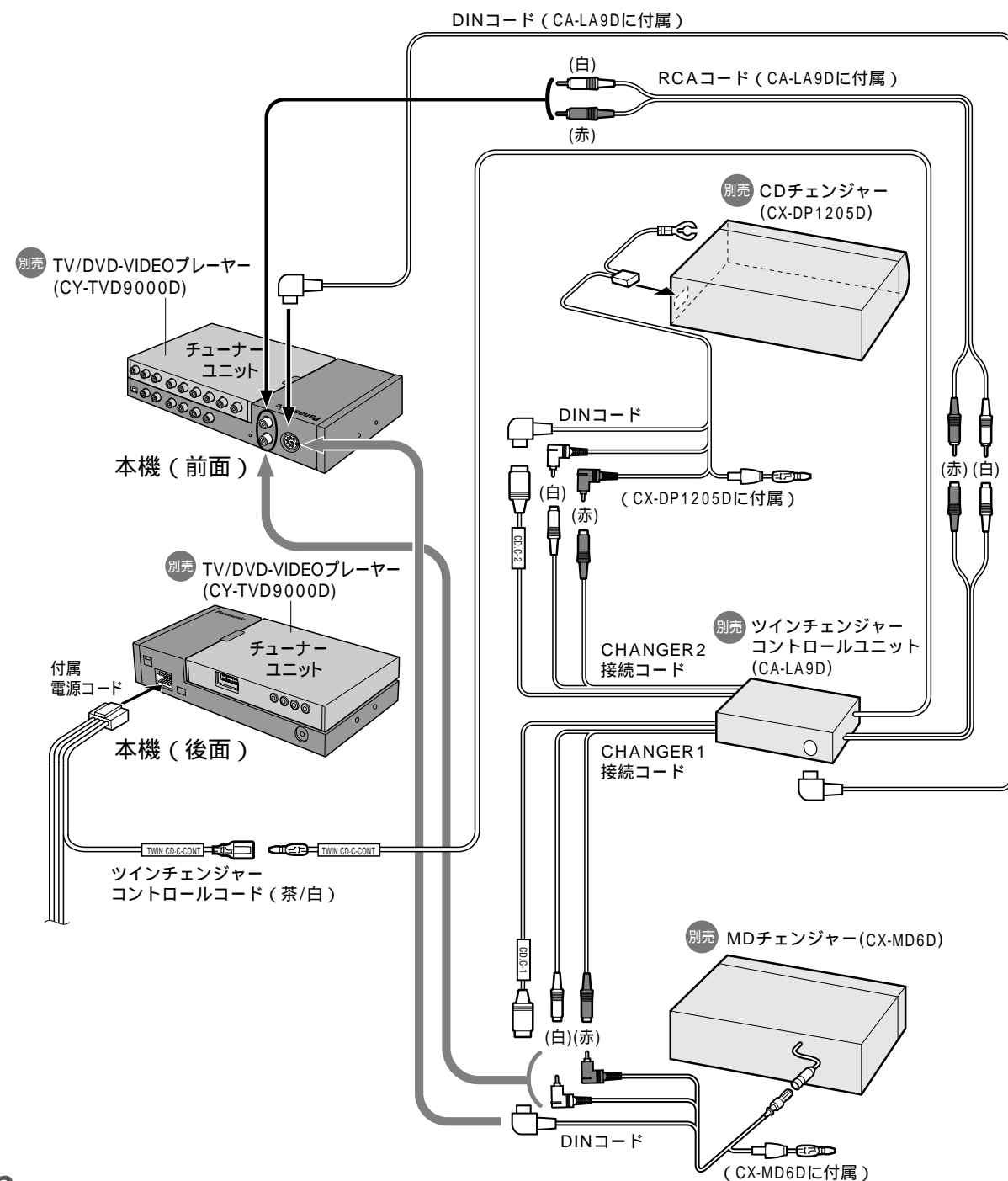
ナビゲーション本体の上にチューナーユニットを重ねて取り付けしないでください。
テレビアンテナのコードとナビゲーションの配線は、できるだけ離してください。
ナビゲーション映像の明るさが一定でない、またはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合には、ナビゲーションのアースコードを本機のアースコードと同じ場所に接続してください。



チェンジャーを接続する

接続した機器の取扱説明書も、併せてご覧ください。

2台接続する場合には、別売のツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。
1台の場合は、太線 (→) のように接続してください。(例: MDチェンジャー)



共通部 CY-TVD9000D は、含みません。

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖ アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 10 A 以下 (CD 動作定格出力時)
定格出力	: 18 W × 4 CH + 12 W (1 kHz, 1 %, 4)
最大出力	: 45 W × 4 CH + 35 W (16 V時)
適合スピーカーインピーダンス	: 4
プリアウト出力電圧	: 2 Vrms (CD/MDチェンジャー)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法 / 質量	: 幅 245 × 高さ 42 × 奥行き 150 (mm) / 1.3 kg

FM チューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N 比 (MONO)	: 60 dB
ステレオ分離度	: 35 dB (1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 28 dBf
イメージ妨害比	: 65 dB

オーディオ部

出力電圧/インピーダンス	: 2 Vrms (EIAJ) / 600	
周波数特性 (LARGE 選択時)	: 20 Hz ~ 20 kHz ± 1dB	
ディレイ時間	ドルビーデジタル センター	: 0 ~ 15 ms
	リア (サラウンド) L/R	: 0 ~ 15 ms
	ドルビープロロジック リア (サラウンド) L/R	: 15 ~ 30 ms
ひずみ率	フロント L/R (1 kHz, 0 dB, PCM 入力)	: 0.01 %
ダイナミックレンジ	: 96 dB (EIAJ)	
S/N 比	: 100 dB (EIAJ)	

本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「DOLBY」, 「ドルビー」, 「PRO LOGIC」, およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

本機は、米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。
「DTS」, および「DTS デジタルサラウンド」は、DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

NAVI は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。


補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

 **0120-50-8729**

フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00～17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CA-TU9000D
販売店名	☎ ()	—	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	—	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

YEFM283635

B1100-0